

一般質問(要旨)

第2回定例会の主な日程

平成23年第2回定例会県議会は、以下の会期日程で開催されました。

- 6月6日(月) **本会議** (開会、知事提出議案説明)
- 6月9日(木) **本会議** 10日(金) (一般質問・質疑)
- 6月13日(月) **常任委員会** 14日(火)
- 6月15日(水) **本会議** (予算関係議案常任委員長報告)
- 6月16日(木) **予算特別委員会**
- 6月17日(金) **調査特別委員会** (東日本大震災復興・元気ないばらきづくり調査特別委員会を開催し、調査を行いました。)
- 6月20日(月) **本会議** (委員長報告、採決、閉会)

農林水産部長 農水産業者自らが行う安全性をPRする取り組みを支援するとともに、販売イベントなどの実施により消費者へのアピールに努めていく。

議員 災害時においても、通常どおりの医療機能を確保することが必要である。医療体制の整備にどのように取り組むのか。

保健福祉部長 災害時における患者受け入れ体制



水戸市内で開催された農産物販売イベント

錦織孝一議員(自民) 風評被害対策は、補償への支援はもちろんのこと、品質や安全性についてしっかり情報発信することが重要である。県はどのようにアピールし、消費者の不安を取り除いていくのか。

農林水産部長 農水産業者自らが行う安全性をPRする取り組みを支援するとともに、販売イベントなどの実施により消費者へのアピールに努めていく。

などについて検証するとともに、医療機関の協力・連携のあり方を検討するなど、体制の整備に努めていく。

(ほかに、中小企業の復興支援、港湾機能の回復、公共施設の耐震化の促進なども質問)

本県農水産物の風評被害対策は販売イベントなどを実施し消費者へアピール

志賀秀之議員(自民) 東日本をカバーする国の広域防災拠点を北茨城市内にある県所有の三十三ヘクタールの遊休地に誘致してはどうか。

知事 本県は高速道路・港湾・空港などが整備されているほか、首都圏と東北の間に位置するなど優れた立地条件を有している。これまでの北茨城市の誘致活動も踏まえ、県としても国の防災拠点の誘致を検討していく。

議員 漁業協同組合の再建に向け、甚大な被害を受けた漁港施設や漁協の共同施設など、水産インフラの復旧をどのように進めていくのか。

農林水産部長 三カ年にわたり計画的に復旧を進



北茨城市中郷町の県有地

める。本年度は防波堤や岸壁などの施設を優先して着手する。共同利用施設は、被災漁協の借入金を無利子化する国の対策を活用し、漁協の負担軽減に努める。

(ほかに、原子力と再生可能エネルギーの両立、五浦美術館の再開通し、映画「天心」なども質問)

国の広域防災拠点の誘致は本県北茨城市への誘致を検討

● 質問者	
錦織 孝一	(いばらき自民党)
志賀 秀之	(いばらき自民党)
石塚 仁太郎	(いばらき自民党)
石井 邦一	(いばらき自民党)
齋藤 英彰	(民主 党)
先崎 光	(いばらき自民党)
戸井田 和之	(無 所 属)
鈴木 亮寛	(いばらき自民党)

圏央道早期開通への取り組みは用地取得を支援し国予算確保を働きかける

石塚仁太郎議員(自民) 圏央道の構想が持ち上がったのはおよそ四十年前である。何故これほどの時を経ても完成しないのか。災害時の高速道路網の重要性が再認識され、すべての人達にとって最大のライフラインとなる圏央道の早期開通に向けた取り組みは。

知事 有料道路事業の許可がなされ、進捗よくが加速すると期待する。県としては、残る用地の取得を全面的に支援し、国

予算の確保を強く働きかけていく。

議員 県と市が一体となつて事業を進める国道三五号岩井バイパスの県が施工する部分を速やかに整備すべきでは。

土木部長 坂東市が実施し、本バイパスと接続する合併支援道路事業の進捗をよくを見据えながら、出来る限り早期の供用を図っていく。

(ほかに、幼保一元化、「やま」(平地林)の整備・保全なども質問)



今後の早期整備が見込まれる圏央道(つくば中央IC)

すべての産業に対して損害賠償を被害はすべて補償するのが基本

石井邦一議員(自民) 今回の原発事故により、農林水産業だけでなく観光業でも深刻な風評被害を受けている。全産業への損害賠償を、国や東京電力に強く求めるべきと考えらるが。

知事 事故と相当因果関係が認められる被害はすべて対象とし、被災者が元の生活に早期に戻れるよう十分な補償をすることを基本とすべきと考えらる。あらゆる機会を捉えて強く働きかける。

議員 六月から栃木県と群馬県とのドクターヘリ運航連携が開始されたが、FIT構想圏域である福島県とも連携を進めるべきではないか。

保健福祉部長 課題もあるが、県北地域の救急医療体制充実には有意義であるので、福島県の意向を確認したうえで、関係者の意見を聞きながら検討を始める。

(ほかに、学校耐震化の早期推進、県北山間地域の振興策なども質問)



6月に東京都江戸川区で開催された奥久慈青空市場